

女子力男子とストレス女子

東京ガス都市生活研究所では、1990年から3年ごとに「生活定点観測調査」を実施しています。この中から、「20代単身社会人※」の約20年間の変化を捉えました。20代の未婚率は年々上昇を続けており、20代後半の未婚者は約7割を占めます。本レポートでは、仕事も家事も行っている単身社会人に注目し分析を行いました。

※分析対象は20代、一人暮らしかつ未婚（離別・死別含む）の社会人

家事をまとめて省力化する女性、こまめに行う男性

女性は家事を「まとめて」行い、男性は「こまめに」行うように

図1は、「ご飯を食事の都度炊いている」人の割合を示しています。20代単身女性では減少しているのに対し、男性は増加しています。また、図2の「毎日洗濯をする人の割合」も20代単身女性が減少している一方、男性は大幅に増加しています。男性はこまめに、女性はまとめて家事を行う人が増加していることがわかります。

図1. ご飯は食事の都度炊いている
(あてはまる+ややあてはまる)

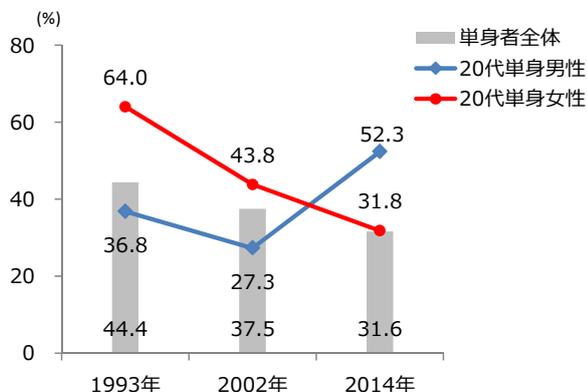
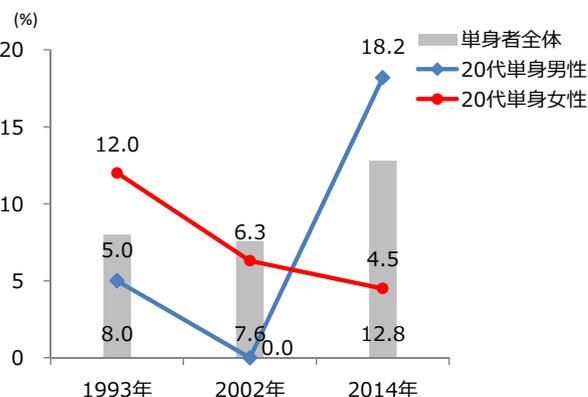


図2. 洗濯をする頻度【毎日】

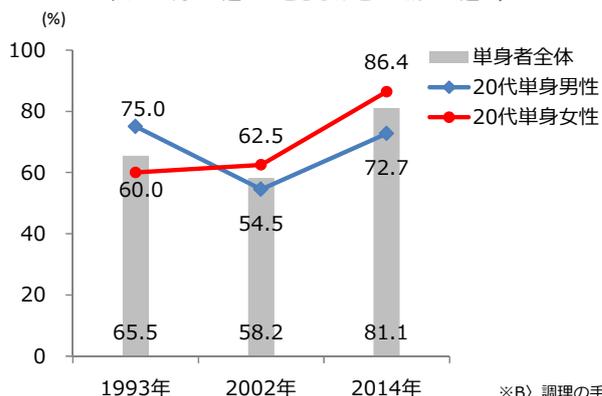


「調理の手間をかけない」割合は、男性よりも女性のほうが高い

「調理の手間をかけないほうである」と回答した20代単身社会人の割合は、2002年に比べて2014年は男女ともに増えています。

2002年からは男女が逆転しており、女性の方がより「かけないほう」と自覚する人が多くなっているようです。

図3. A) 調理の手間をかけないほうである※
(たいへんAに近い+どちらかといえばAに近い)



※B) 調理の手間をかけるほうである

